

**地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」
大町市街地区間**

**道路計画に係る説明会(第2回)
令和8年3月**

長野県大町建設事務所・大町市

本日の説明内容

- 令和7年12月地区説明会の結果
- 令和7年12月地区説明会での質問・意見への回答、今後の進め方
- 令和8年2月オープンハウスの結果
- 今後の予定

令和7年12月 道路計画に係る地区説明会の結果

■ 地区説明会の内容

- ルート線及び概ねの道路構造、インターチェンジの計画
- 本線に関連する横断道や側道の計画
- 3次元モデルによる完成イメージ図
- 今後の予定



地区説明会の様子(市役所)

■ 地区説明会の日時、出席者数など (全8回開催、延べ384名出席)

日 時	会 場	対象自治会	出席者
12月8日(月)	泉公民館	泉、松原団地	37名
12月9日(火)	上一基幹センター	上一、上一住宅	61名
12月11日(木)	宮田町公民館	宮田町	50名
12月12日(金)	平公民館	木崎、外堀、山崎、仁科郷、白樺、塩ノ原、森	34名
12月15日(月)	大原町公民館	大原町	34名
12月16日(火)	借馬公民館	借馬、西原	36名
12月17日(水)	市役所 東大会議室	大新田町、高根町、西若宮町、桜田町	69名
12月18日(木)	市役所 東大会議室	北原町、栄町、中原町、若原町	63名

出席者合計 384名
(延べ数)

令和7年12月地区説明会での質問・意見への回答、今後の進め方

項目	主な質問・意見	当日の回答	今後の進め方
事業の必要性、ルート選定について	<ul style="list-style-type: none"> ・木崎湖以北は国道が1本しかない。なぜ道路がたくさんある大町市街地から進めるのか。 ・木崎湖以北の課題解決が先ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備効果が早期発現できるように、区間を設定して段階的に事業を進めており、走行の定時性に課題がある大町市街地区間を優先して進めている。 ・木崎湖以北の現道活用区間についても、今後検討を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の回答のとおり大町市街地区間を優先するが、市街地区間の進捗に応じ、木崎湖以北の検討も併せて進めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の住宅が多い地域を通過する計画に納得できない。騒音や景観への影響が大きいのに、なぜこのルートなのか。 ・既存道路の改良ではダメなのか。 ・本当に必要な道路なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H30から行っている説明会で西ルート帯を選定し、更にA,B,Cの3つのルート帯の中から、評価項目の設定や各ルートの評価結果について住民意見も踏まえて検討した上で選定している。 ・既存道路の改良では対応できないことや整備効果についても説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大町市街地区間に関して寄せられる質問・意見等については、引き続き丁寧に説明していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路ネットワークづくりは必要。松糸道路は人口が減っても、次世代に残すべき必要な道だと思う。景観への影響はあるが、許容できる範囲だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見も踏まえて、地域の理解が得られるように進めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備効果資料なども随時更新し、引き続き道路の必要性について説明していく。
景観への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・大町の素晴らしい景観が盛土によって悪化してしまう。 ・家からの景色が大きく変わってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元モデルにて景観への影響を説明。 ・詳細設計の中で構造物等の高さが決まれば、前後の盛土高もできる限り高さを抑える計画に見直す予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観への影響については3次元モデルを用いて具体的に確認してもらい、できる限り配慮していく。 →【追加説明①】景観への影響資料
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画は推進して欲しいが、景観も大事。盛土法面を緑化するなど景観へ配慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法面緑化についても、今後検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・盛土法面は緑化することを基本とするが、緑化範囲は草の繁茂や除草などの維持管理面も考慮して検討。

令和7年12月地区説明会での質問・意見への回答、今後の進め方

項目	主な質問・意見	当日の回答	今後の進め方
地域コミュニティへの影響	<ul style="list-style-type: none"> ・盛土による地域コミュニティの分断は避けられないが、構造変更や横断道の追加など、配慮してもらえるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松糸道路の整備により往来できなくなる市道等については、機能確保の観点から最低限必要となる側道、横断道のみを配布資料に示している。 ・今後、地域の利用実態や地域分断への配慮も行いながら検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の回答のとおり、事業実施段階で行う詳細設計では、地域の利用実態や地域分断にも充分配慮し、側道や横断道の設置位置等について検討を進めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・側道や横断道は資料に示された箇所しか整備されないのか。地域の利用に応じて変更可能か。 		
騒音等の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音予測では環境基準ギリギリ。実際には基準を超える可能性があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の静かな環境に比べると新たに道路ができることで騒音をストレスに感じる可能性は充分考えられる。 ・今後、設計を進める中で道路構造や側道の計画等が決まれば、具体的な位置や距離に応じて住居等への騒音予測を行い、必要に応じて防音壁等の対策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の回答のとおり、事業実施段階で行う詳細設計で道路の構造が確定すれば、住居に近くなる箇所等において、騒音等の調査・予測を行い、必要に応じて防音壁等の防音対策を講じていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音の環境基準は幹線道路沿いの基準。現在の静かな環境と比べると大きな騒音となり、住民はストレスを感じるのではないか。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中の騒音についても長期間に渡って影響が出ることが懸念。あらかじめ調査して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路構造や施工方法が決まれば、騒音予測を行って対策を図り、工事中は工事業者とともに騒音の軽減を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、概ねの工事期間を提示。 →【追加説明②】工事期間の目安資料 ・事業実施段階で行う詳細設計において、具体的な施工方法を検討し、より詳細な工事期間及び工事期間中の騒音対策等について地元を示していく

令和7年12月地区説明会での質問・意見への回答、今後の進め方

項目	主な質問・意見	当日の回答	今後の進め方
インターチェンジに関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・国道147号に設置予定のインターチェンジを盛土から構造物にすれば、土地への影響が少なくなるのではないかと懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・盛土構造を基本とした案だが、擁壁にすれば土地への影響を抑えることは可能。 ・地域の意見をしっかり聞きながら構造について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の回答のとおり、事業実施段階で行う詳細設計において、地域の意見をしっかり聞きながらインターチェンジの構造を決定する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・国道147号のインターチェンジが2つに分かれた理由は。国道147号の上一北交差点の交通量が増えないかと懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の流れの予測から、県道有明大町線を有効に活用し、インターチェンジから乗り降りする交差点を分けることで円滑な交通が確保できる。 ・市街地方面へは本線を利用するため、上一北交差点の交通量は減ると想定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、交通量推計を行う予定であり、その結果に基づいた将来交通量や交通流等を用いて、引続き必要性について理解を求めていく。
今後の予定・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の具体的な予定を教えてください。補償等に係る個別の説明はいつになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の理解を得て進めていく必要があるため、現時点では具体的に示せない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の説明会において、都市計画道路の役割、都市計画手続きや今後のスケジュールを説明していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・盛土による日照の影響について示してほしい。 ・日陰による稲の生育が心配。 	<p>(個別相談時の意見のため回答なし)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施段階で行う詳細設計において、具体的な日照阻害の予測等を行う。 <p>→【追加説明③】日照の影響資料</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・松糸道路ができることで、大町市が本当に良くなるのか。市の構想や土地利用、ビジョンについても聞かせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体の道路ネットワークや土地利用の見直しを行い、観光や企業誘致などを強化できるような取り組みが必要と考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市のまちづくり等の考え方を説明。 <p>→【追加説明④】市のまちづくり資料</p>

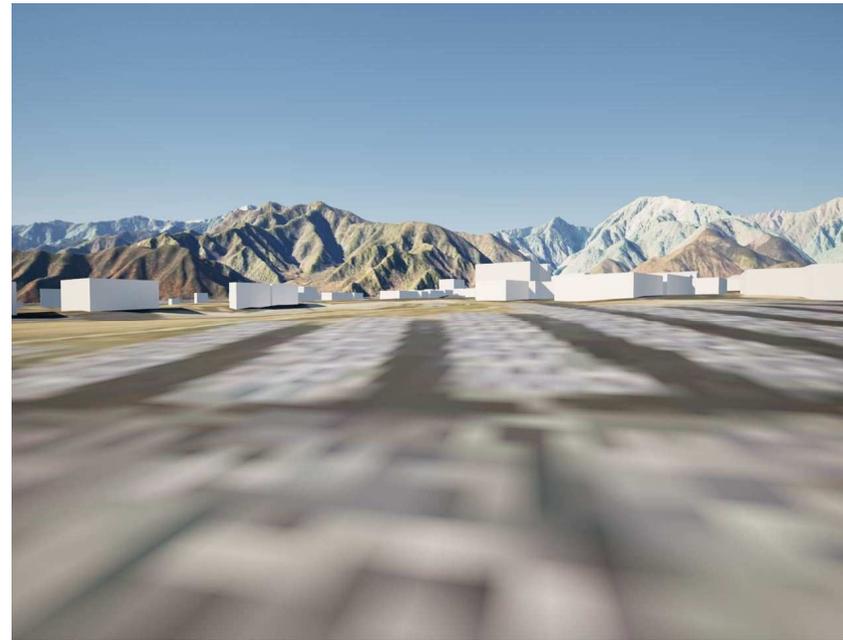
令和7年12月地区説明会での主な質問・意見への追加説明①

■ 景観への影響について（宮田町付近・目線での見え方）

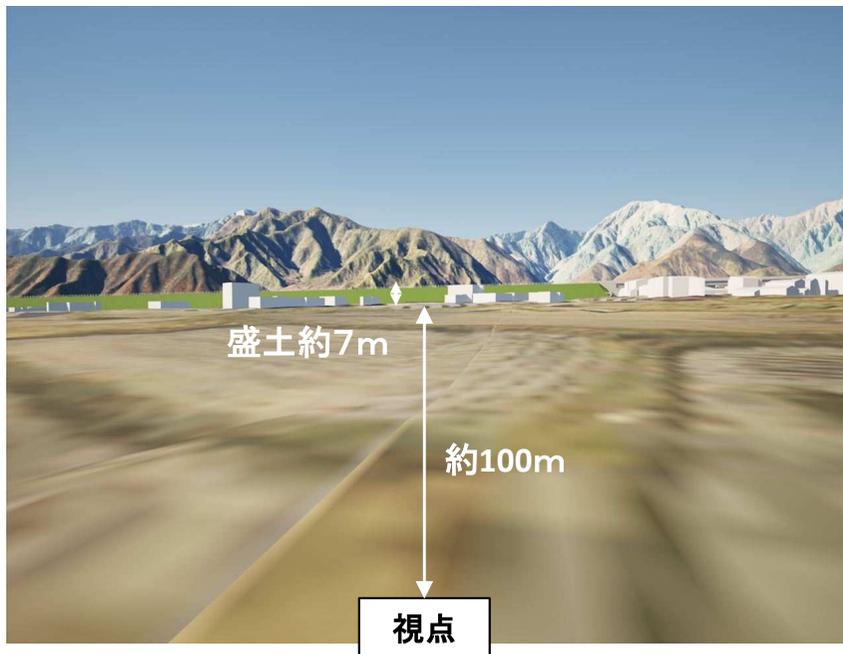
整備前



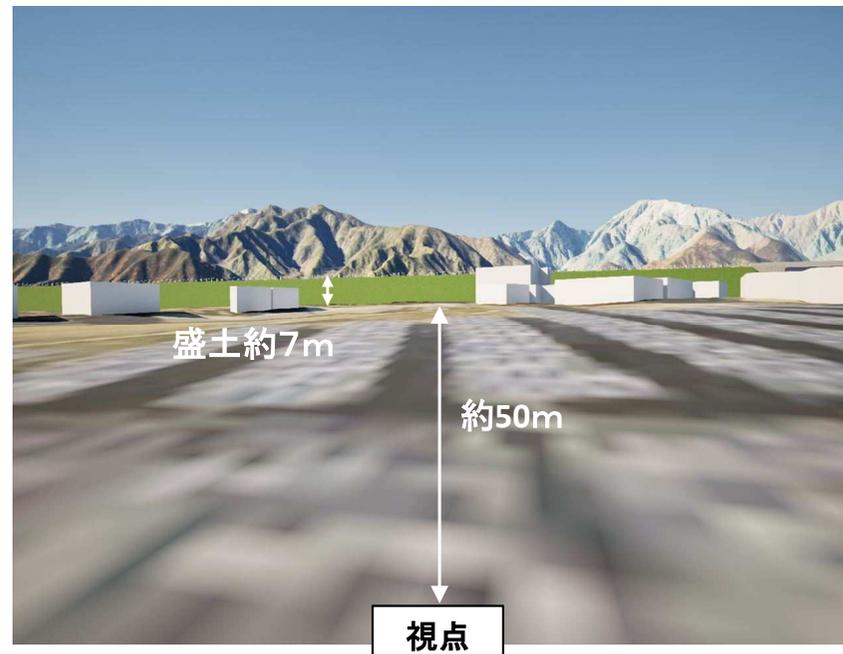
整備前



整備後



整備後

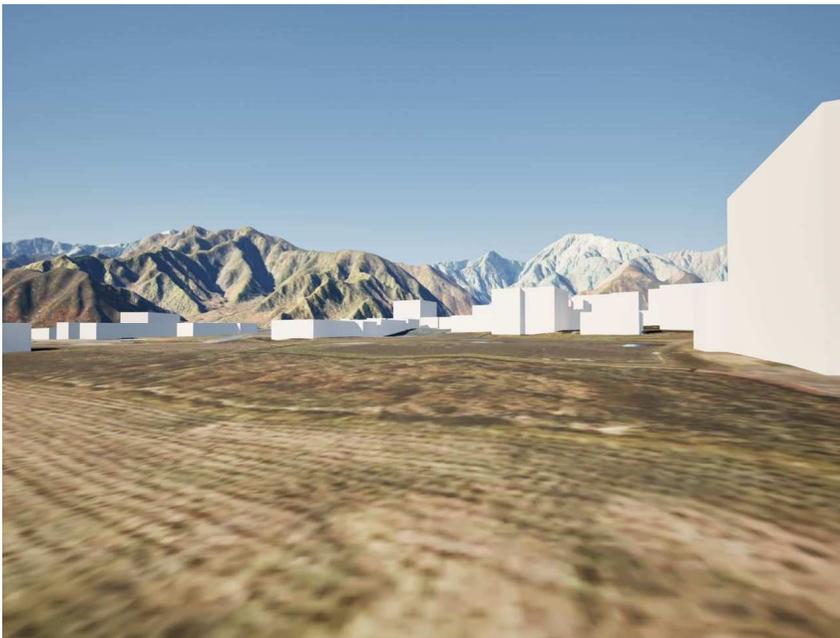


※3次元モデルは現時点での完成イメージ図です。今後の検討状況により変更の可能性があります。

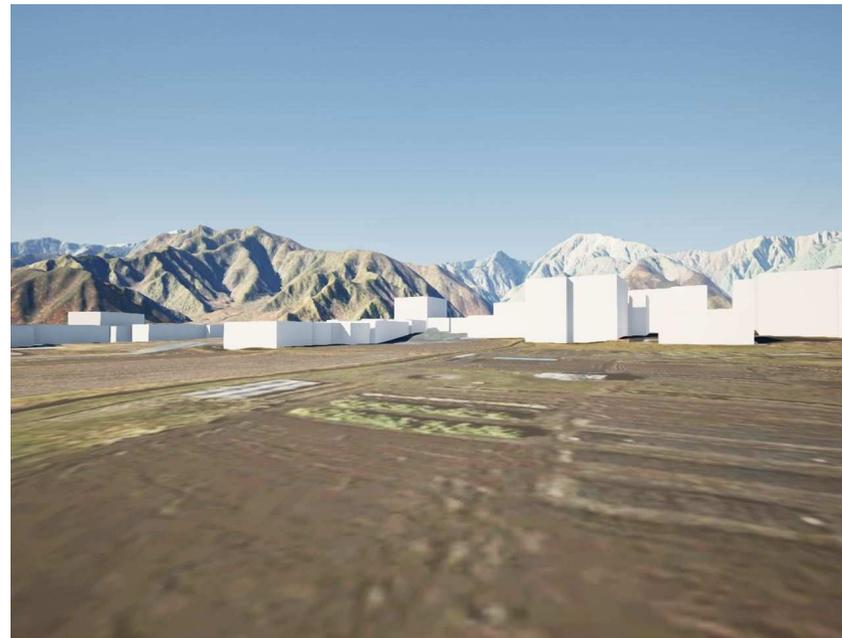
令和7年12月地区説明会での主な質問・意見への追加説明①

■ 景観への影響について（宮田町付近・目線での見え方）

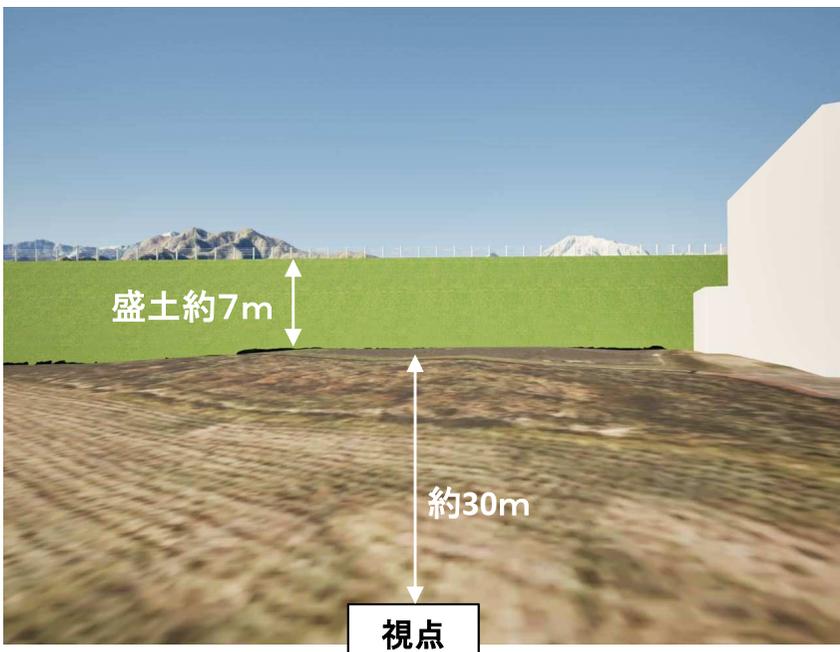
整備前



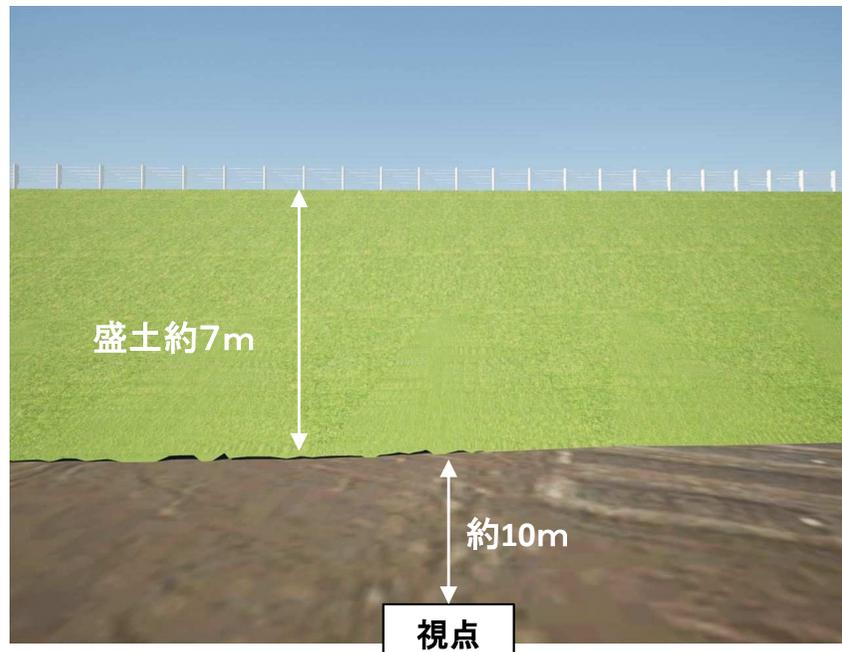
整備前



整備後



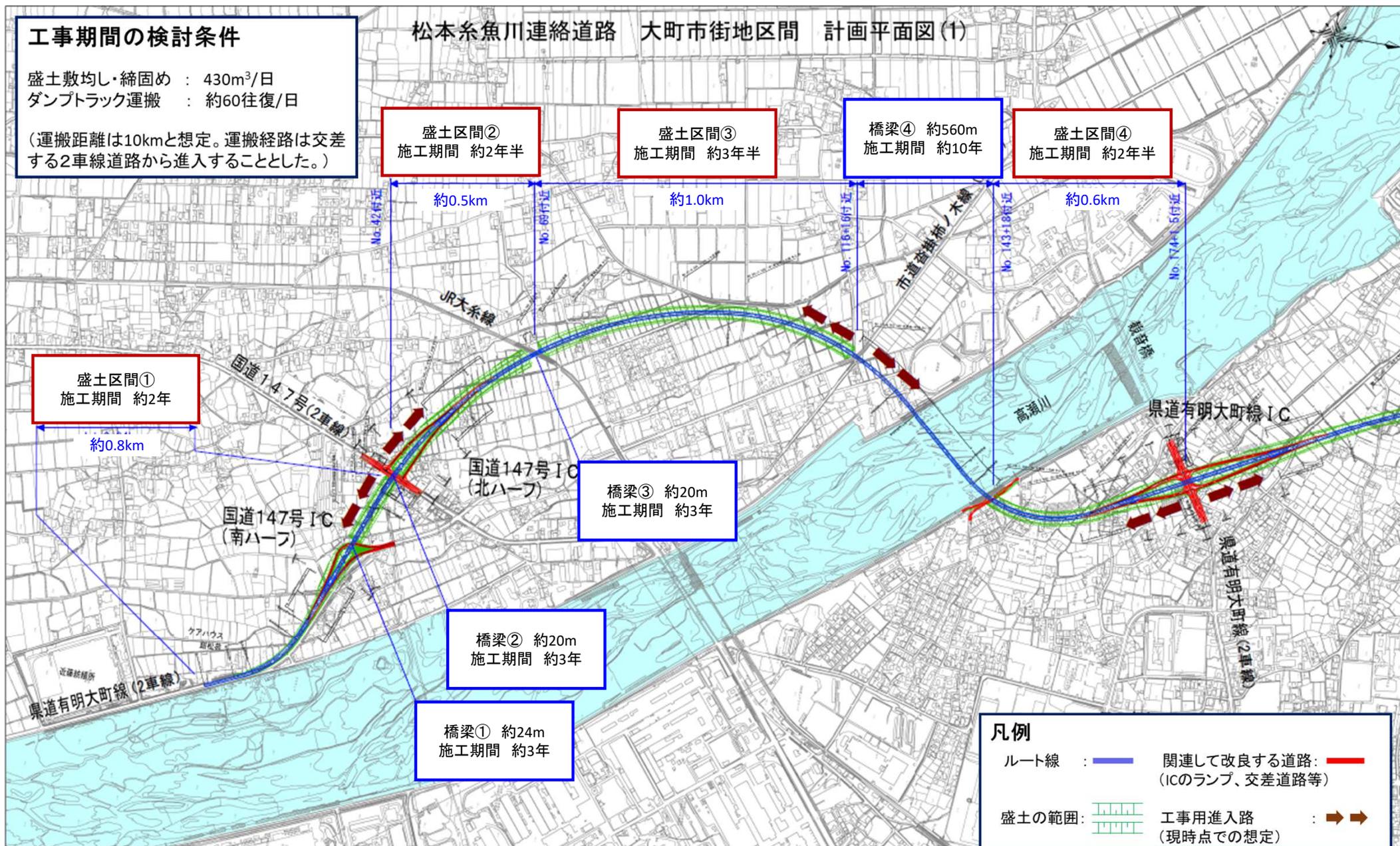
整備後



※3次元モデルは現時点での完成イメージ図です。今後の検討状況により変更の可能性があります。

令和7年12月地区説明会での主な質問・意見への追加説明②

■概ねの工事期間について

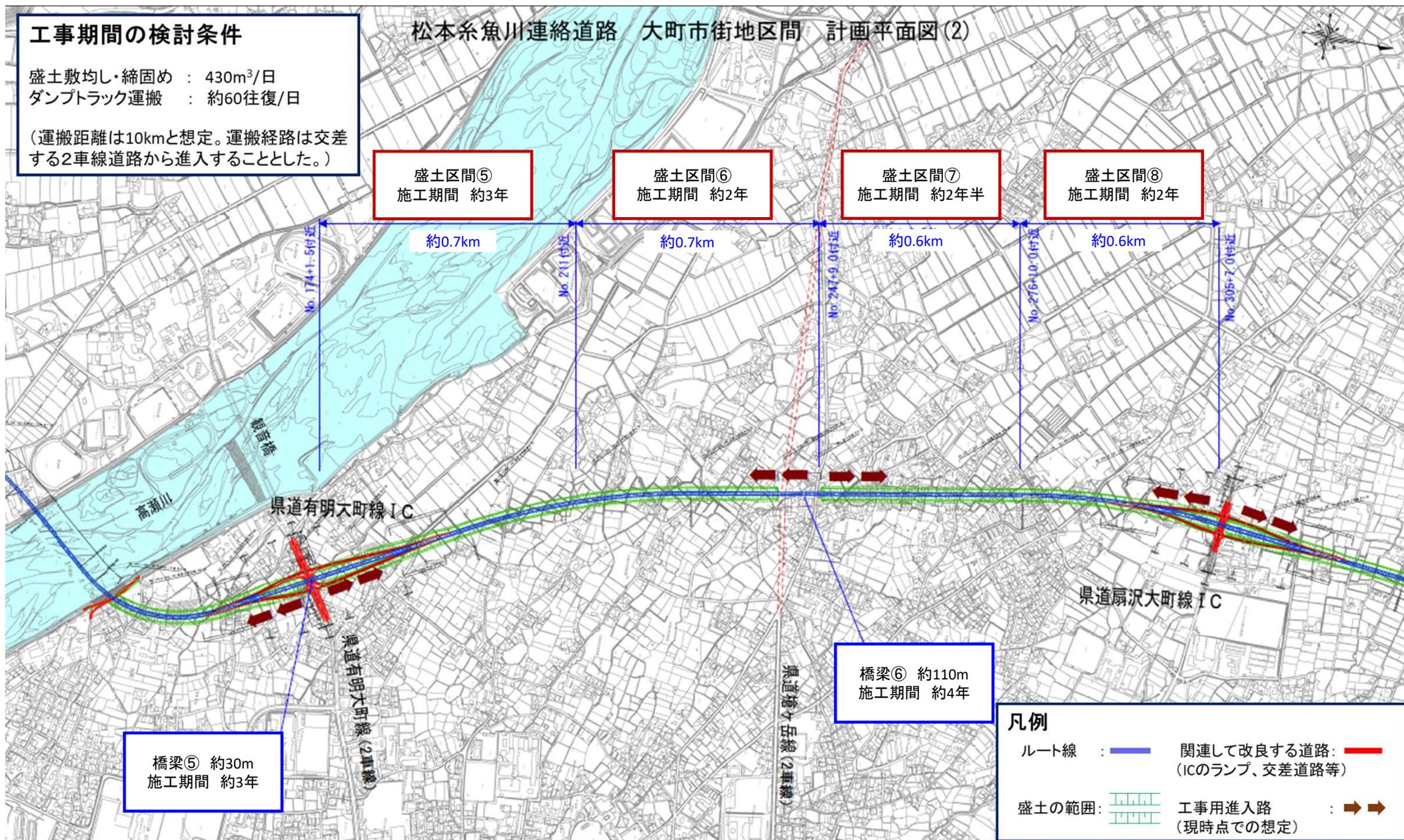


※R8.3時点の計画に基づき想定される概ねの工事期間であり、道路構造や施工方法及び盛土材の運搬経路により期間が変更になる可能性があります。

※現時点での計画案であり、道路の構造や事業用地の範囲などを確定するものではありません。また、現在の道路幅に側道の計画は含まれません。

令和7年12月地区説明会での主な質問・意見への追加説明②

■概ねの工事期間について

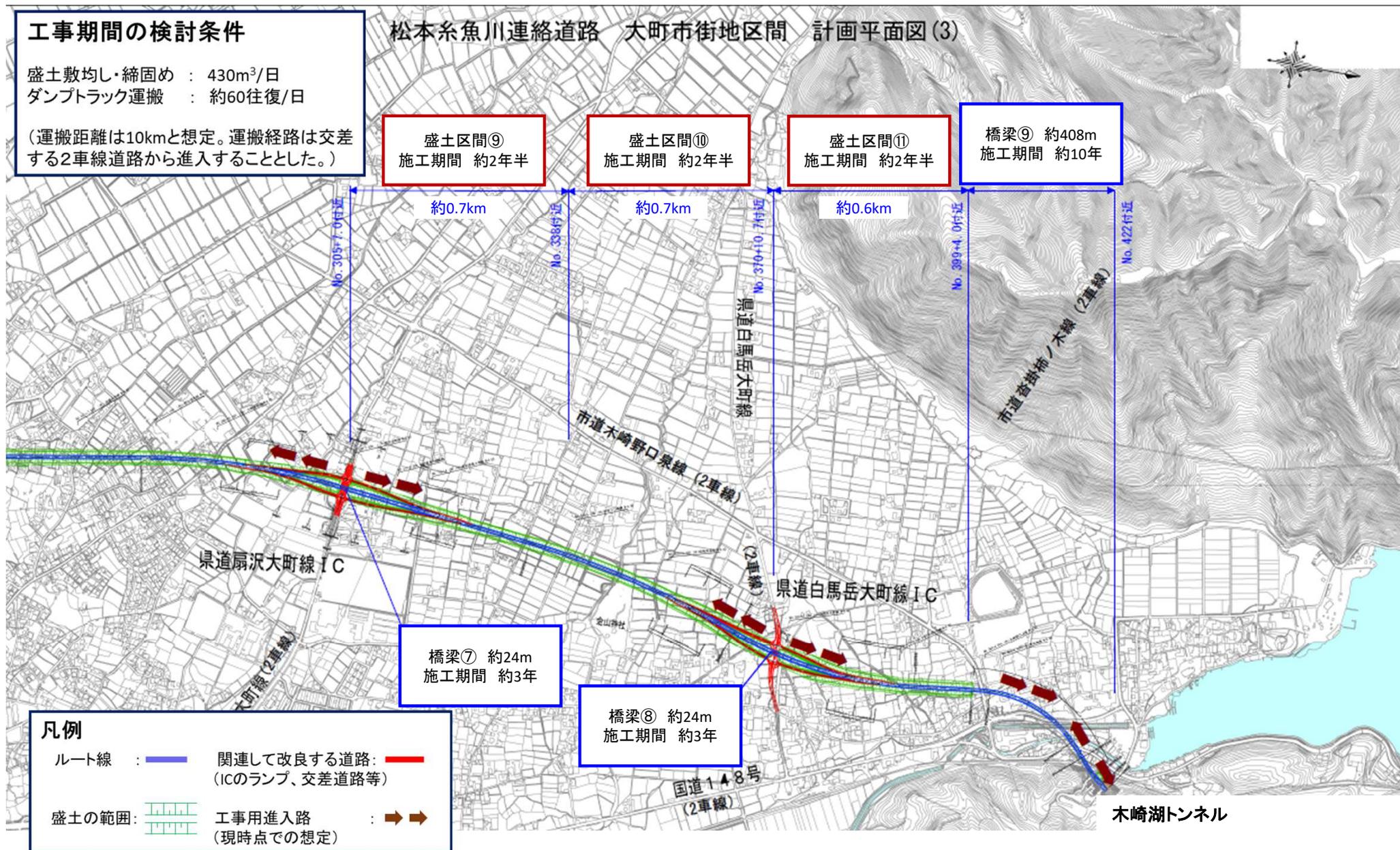


※R8.3時点の計画に基づき想定される概ねの工事期間であり、道路構造や施工方法及び盛土材の運搬経路により期間が変更になる可能性があります。

※現時点での計画案であり、道路の構造や事業用地の範囲などを確定するものではありません。また、現在の道路幅に側道の計画は含まれません。

令和7年12月地区説明会での主な質問・意見への追加説明②

■ 概ねの工事期間について



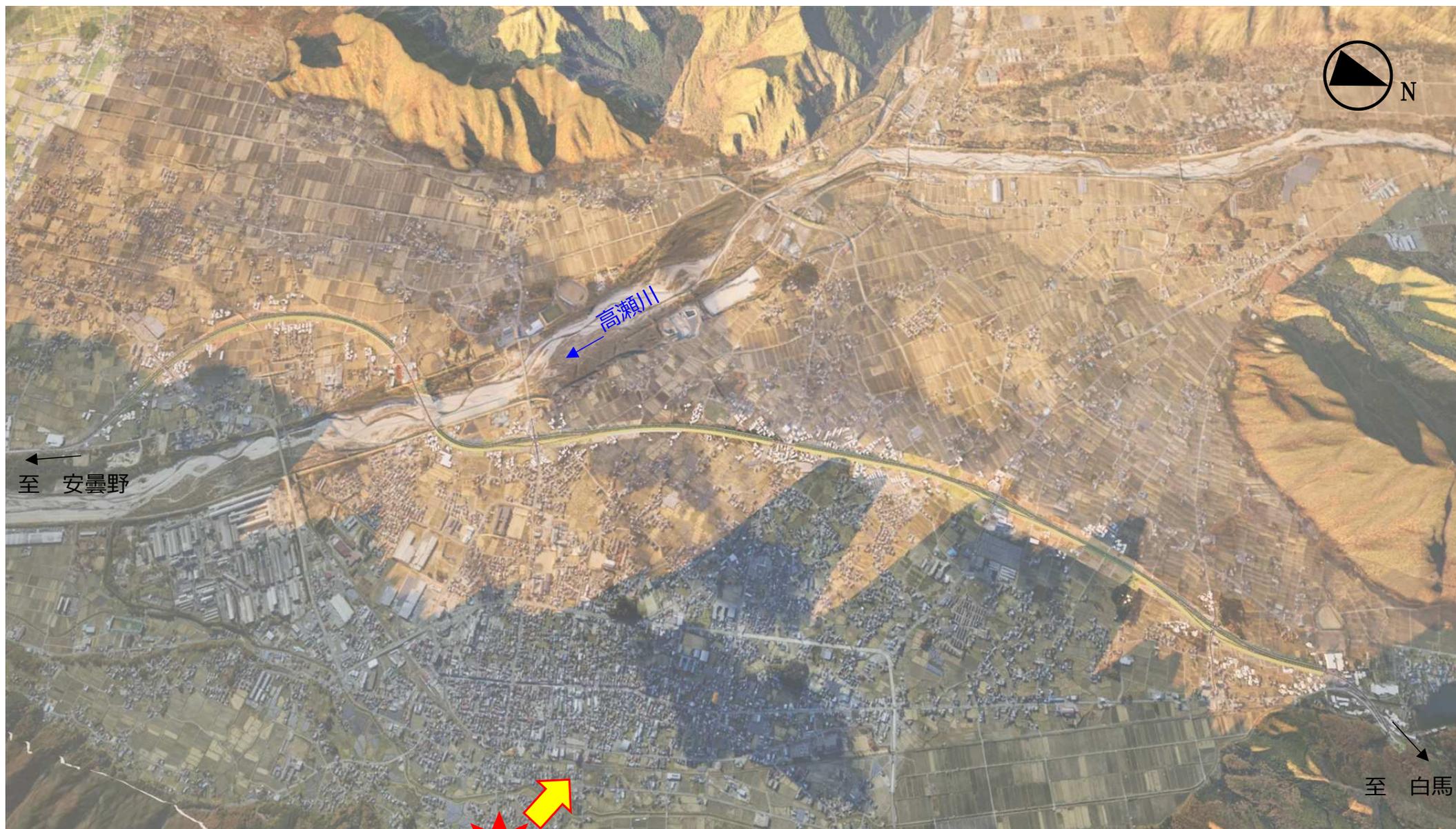
※R8.3時点の計画に基づき想定される概ねの工事期間であり、道路構造や施工方法及び盛土材の運搬経路により期間が変更になる可能性があります。

※現時点での計画案であり、道路の構造や事業用地の範囲などを確定するものではありません。また、現在の道路幅に側道の計画は含まれません。 10

令和7年12月地区説明会での主な質問・意見への追加説明③

■盛土による日照への影響について

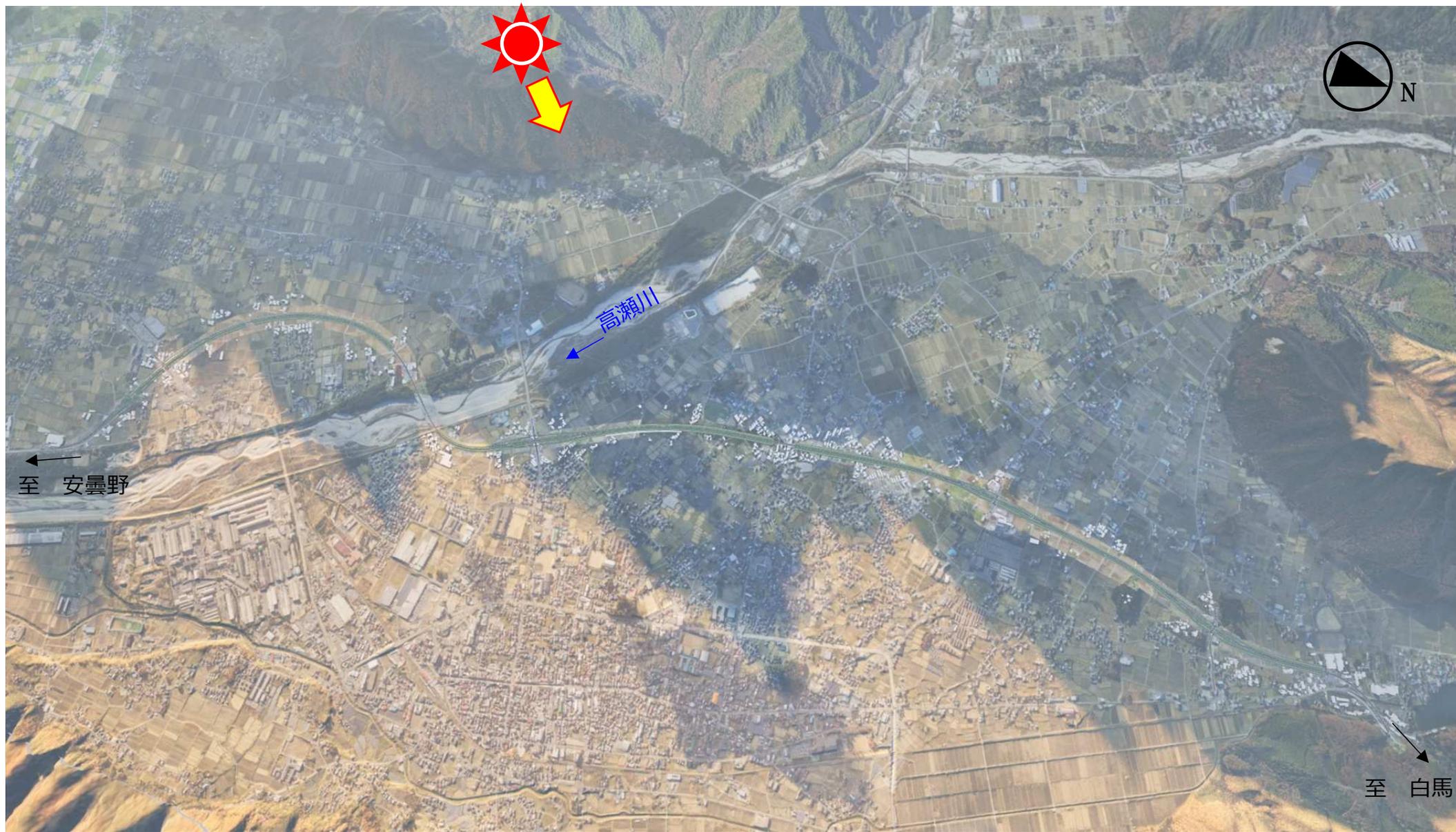
検討条件：冬至日 午前7時半頃の日陰の変化



令和7年12月地区説明会での主な質問・意見への追加説明③

■盛土による日照への影響について

検討条件：冬至日 午後4時頃の日陰の変化



令和7年12月地区説明会での主な質問・意見への追加説明③

■盛土による日照への影響について（宮田町付近での例）

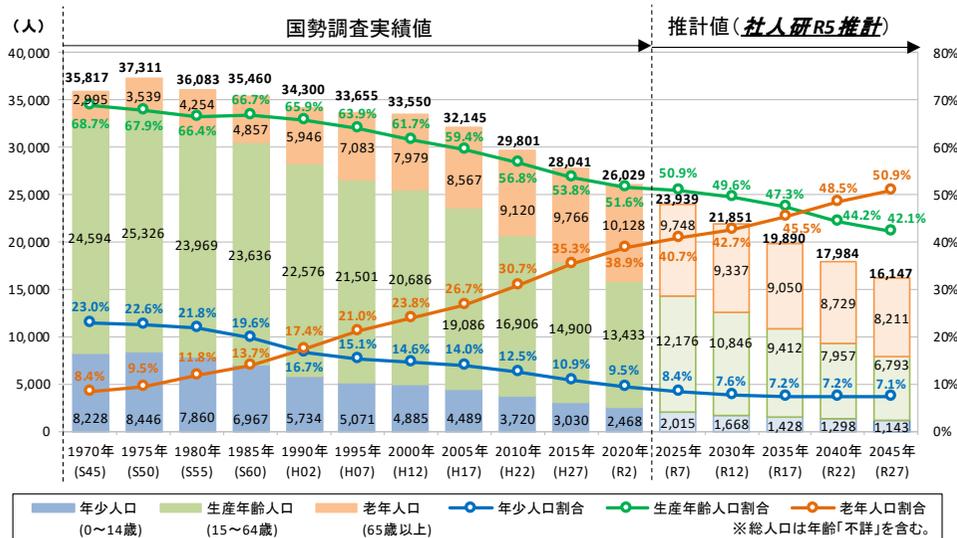
検討条件：冬至日 午前8時、9時、午後2時、午後3時の日陰の変化



- ・日の出から午前9時頃、午後2時半頃から日の入の間は盛土による日陰が周辺に影響する可能性がある。
- ・今後の詳細設計に合わせて、日影図を作成し具体的な影響について説明する予定。

大町市の現状と課題

大町市の総人口・年齢3区分別人口の動向



出典：上記の資料を基に作成
 [1980～2020年] 総務省統計局「国勢調査」再編加工
 [2025～2045年] 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」再編加工

2020年 総人口26,029人

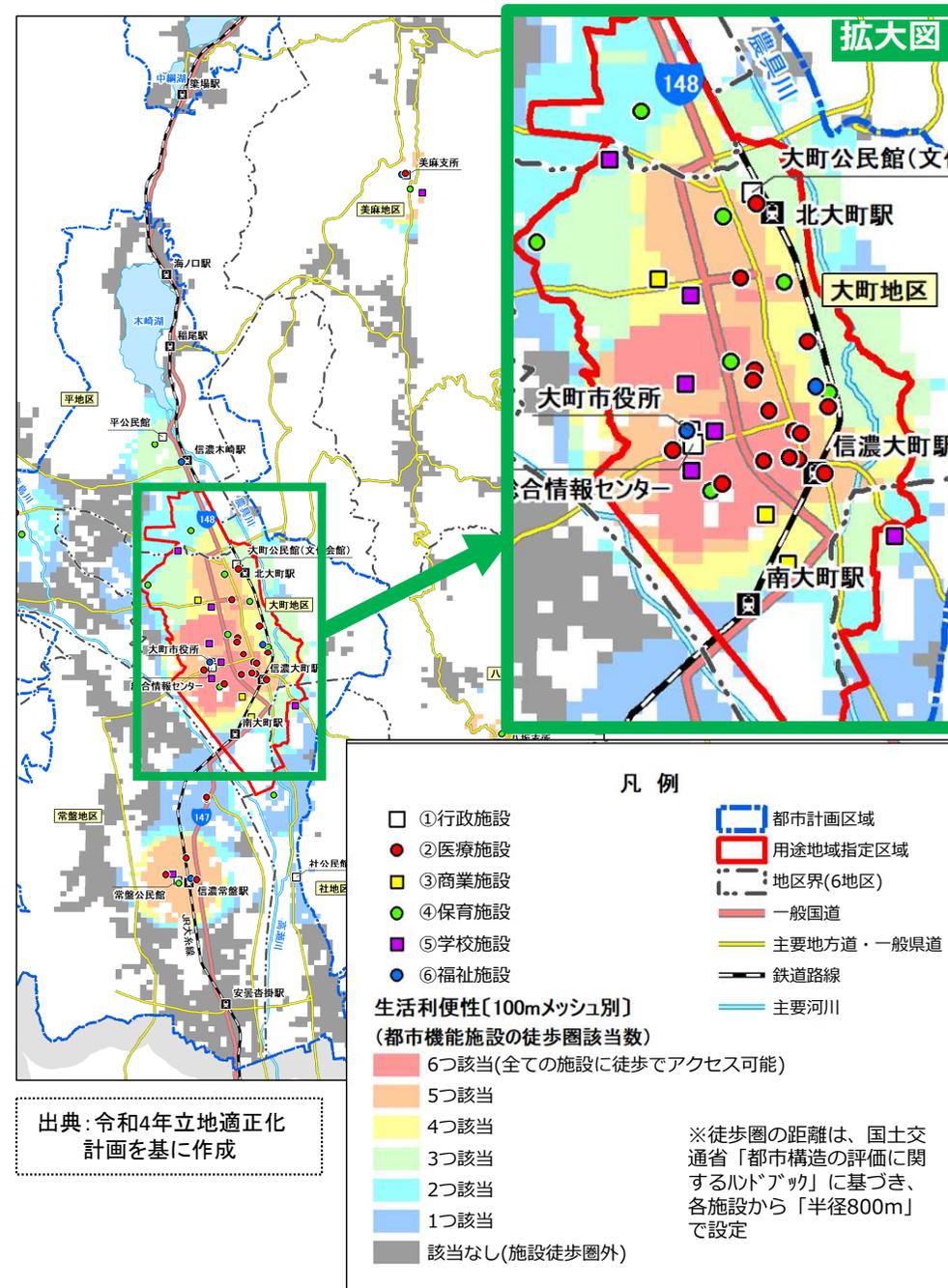
今から20年後 (2025年) **約1万人減小**

2045年 推計人口16,147人

人口が減って人口密度が下がると・・・

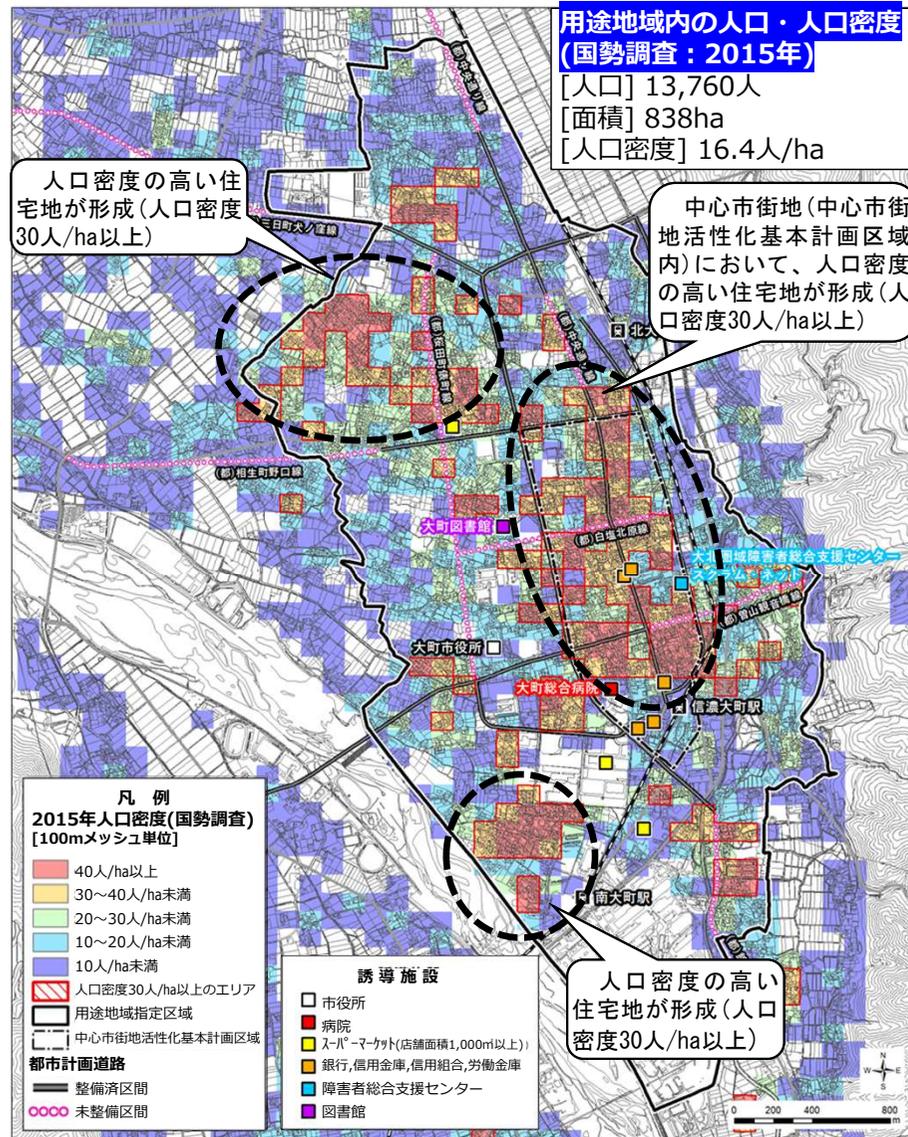
現在、一定の人口密度に支えられてきた**医療・福祉・子育て支援・商業等の生活サービスの提供が困難**となりかねない状況にあります。

生活サービス施設徒歩圏図
 (徒歩圏の重なり具合による利便性の評価)



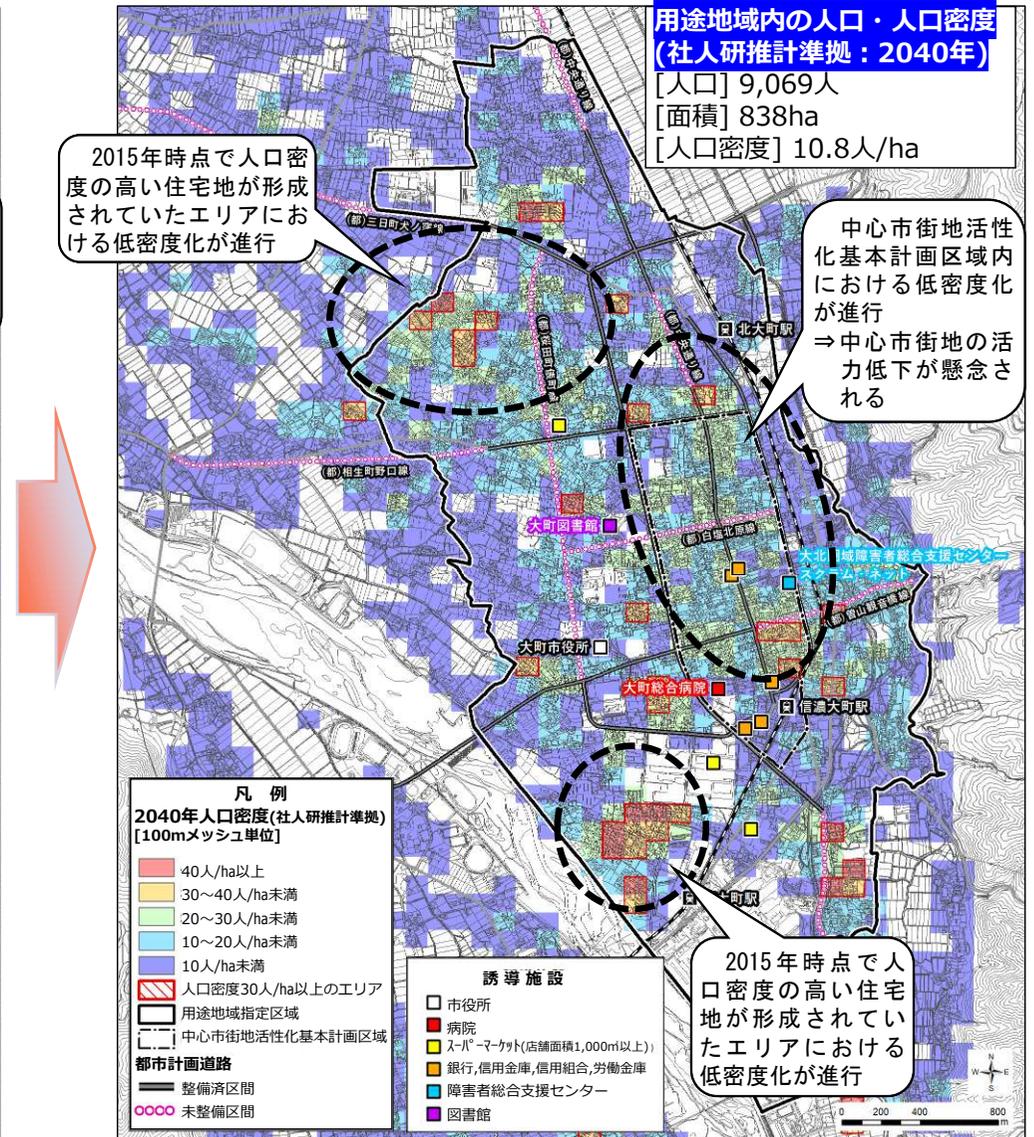
中心市街地の人口密度分布状況（100mメッシュ別人口密度分布を可視化したもの）

2015年国勢調査による実績



【現況(2015年)100mメッシュ別人口密度分布】

2040年の国立社会保障・人口問題研究による推計



【将来(2040年)】100mメッシュ別人口密度分布

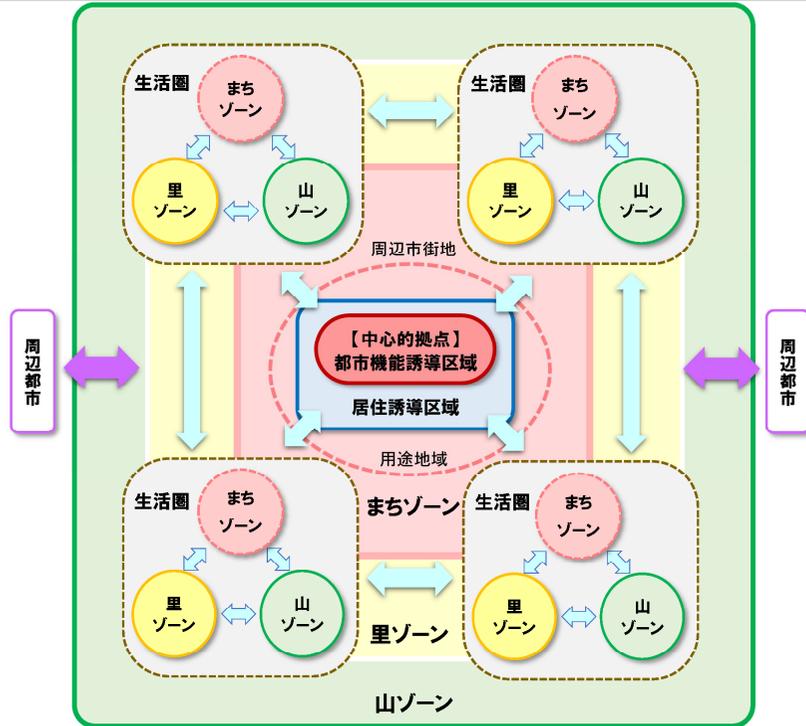
将来都市構造

本市の都市の骨格構造の特性を活かすため、それぞれに魅力ある「まち」「里」「山」の3つのゾーンの明確化と共生を図るとともに、歴史的な成り立ちを大切に、大町、平、常盤、社、八坂、美麻の6地区で、暮らしを支える魅力ある拠点の形成とネットワーク化を図り、多彩な地域がつながる連携・共生型のまちづくりを目指します。

大町市版コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ

「基本方針」

それぞれに魅力ある「まち」、「里」、「山」、多彩で個性豊かな地域と地域がつながる連携・共生型の都市づくり



3つのゾーン区分のイメージ



土地利用整備方針

- 方針1** 「大町市版コンパクト・プラス・ネットワーク」構築に向けた土地利用の推進
- 方針2** 自然環境との調和や保全による秩序ある地域づくり
- 方針3** 定住促進、地域の活性化に向けた取組の推進

まちゾーン（用途地域内）におけるエリア別の方向性

【一般住宅エリア】
・居住誘導区域内の住居系用途地域
・生活利便施設の立地による暮らしやすい住宅市街地の形成

【中層系住宅エリア】
・都市機能誘導区域内の中層住居専用系用途地域
・学校跡地等の効率的な利活用の推進
・利便性の高い住宅市街地の形成

【農地介在住宅エリア】
・居住誘導区域外の住居系用途地域
・農地が多く介在し、ライフスタイルの多様化に対応したゆとりある空間形成
・新たな居住の受け皿づくり

【沿道・業務系エリア】
・沿道商業や業務系施設が立地
・沿道の立地ポテンシャルを活かした土地の有効活用

【まちなか居住エリア】
・都市機能誘導区域内の混合型住居系用途地域
・まちなか居住を推進
・駐車場の適正配置等による商業・業務エリアへの誘客を促進

【商業・業務エリア】
・既存ストックの活用によるにぎわい創出や歩いて楽しいまちなかの形成

【工業系エリア】
・周辺環境との調和に配慮した工業集積の維持・形成

(凡例)

- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 商業・業務エリア
- 工業系エリア
- 沿道・業務系エリア
- まちなか居住エリア
- 中層系住宅エリア
- 一般住宅エリア
- 農地介在住宅エリア

令和8年2月 道路計画に係るオープンハウスの結果

地域の皆さまに理解を深めていただくとともに、意見交換を行う場として、オープンハウスを開催しました。

■オープンハウスの内容

①これまでの検討経過

②松糸道路の整備効果

③12月地区説明会の内容

●ルート線及び概ねの道路構造、インターチェンジの計画

●本線に関連する横断道や側道の計画

●3次元モデルによる完成イメージ図

●今後の予定

④大町市のまちづくり

※来場者にはアンケート調査にご協力いただきました



オープンハウスの様子(市役所)

■オープンハウスの日時、来場者数など (3日間開催、延べ196名出席)

【会場】大町市役所 東庁舎 大会議室 【開催時間】10時～17時

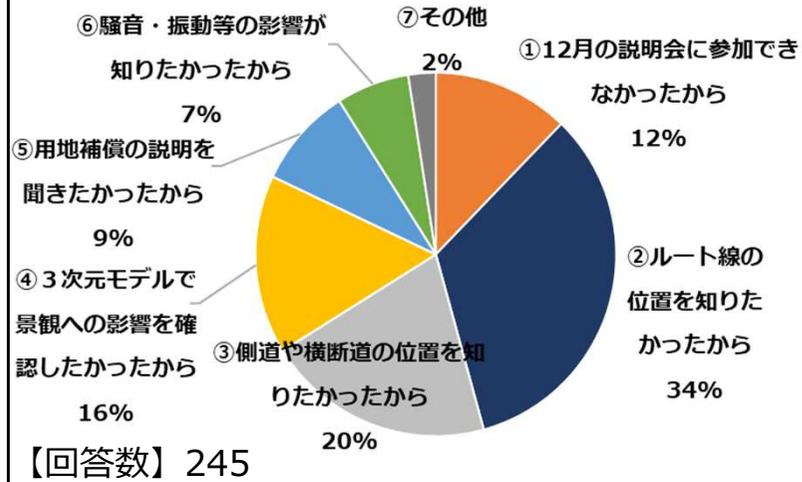
日時	2月22日(日)	2月23日(月)	2月24日(火)	合計
来場者数	64名	52名	80名	196名

令和8年2月 道路計画に係るオープンハウスの結果

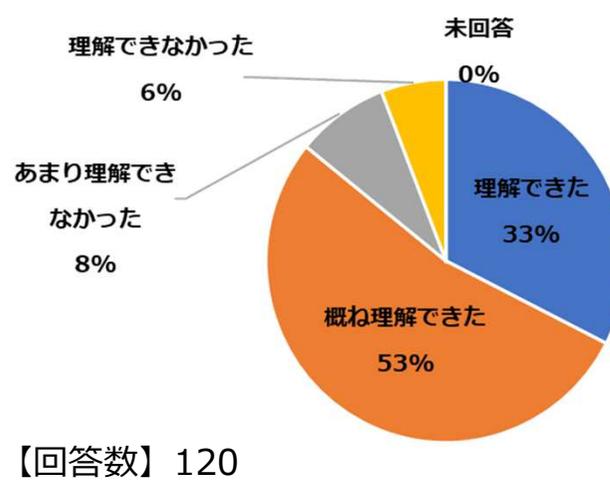
来場者へのアンケート調査結果

【アンケート回答者：122名】

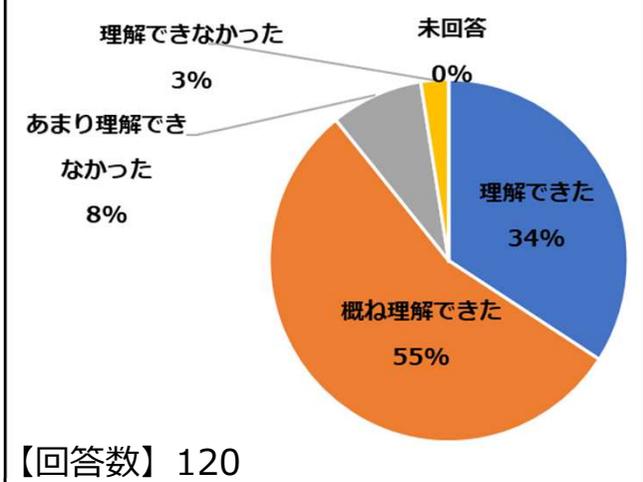
今回のオープンハウスに参加した理由・目的を教えてください【複数回答可】



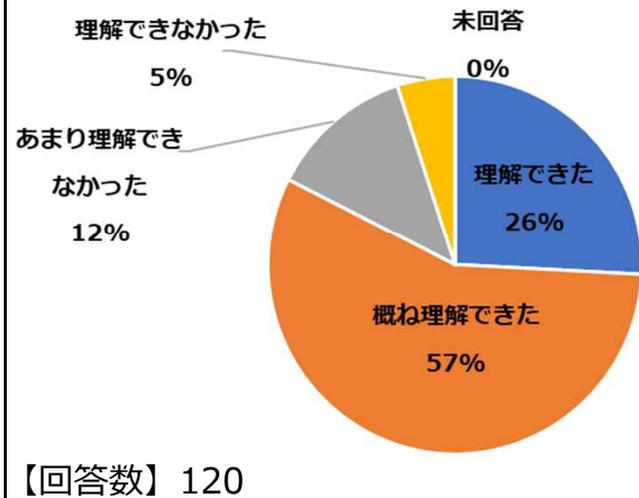
松本系魚川連絡道路の役割は理解できましたか【単一回答】



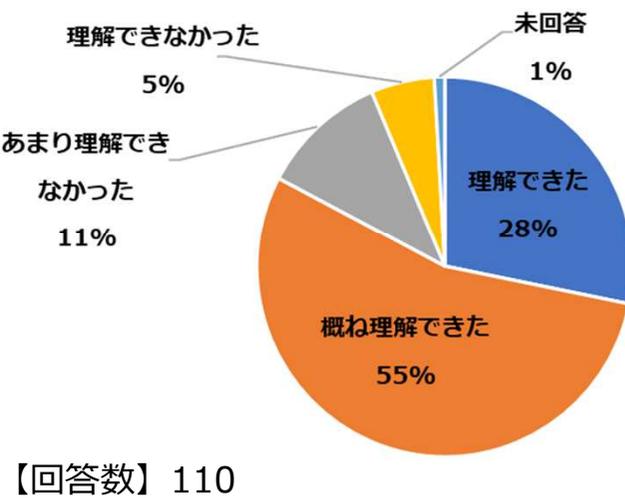
ルート線の計画位置・概ねの道路構造は理解できましたか【単一回答】



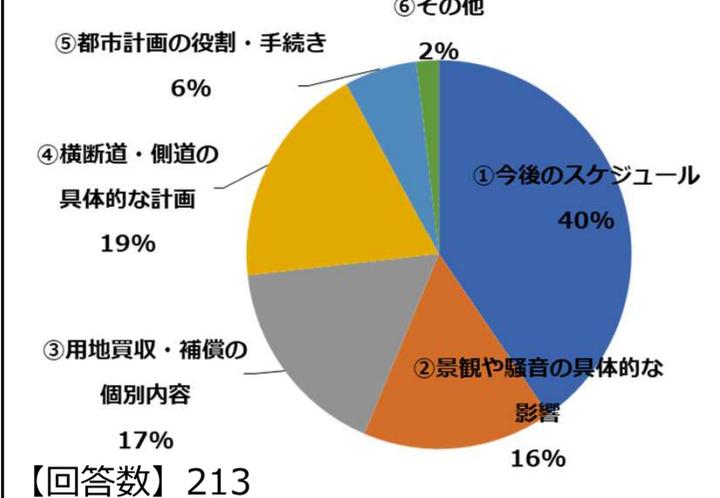
横断道や側道の計画について理解できましたか【単一回答】



3次元モデルの完成イメージにより景観への影響について理解できましたか【単一回答】

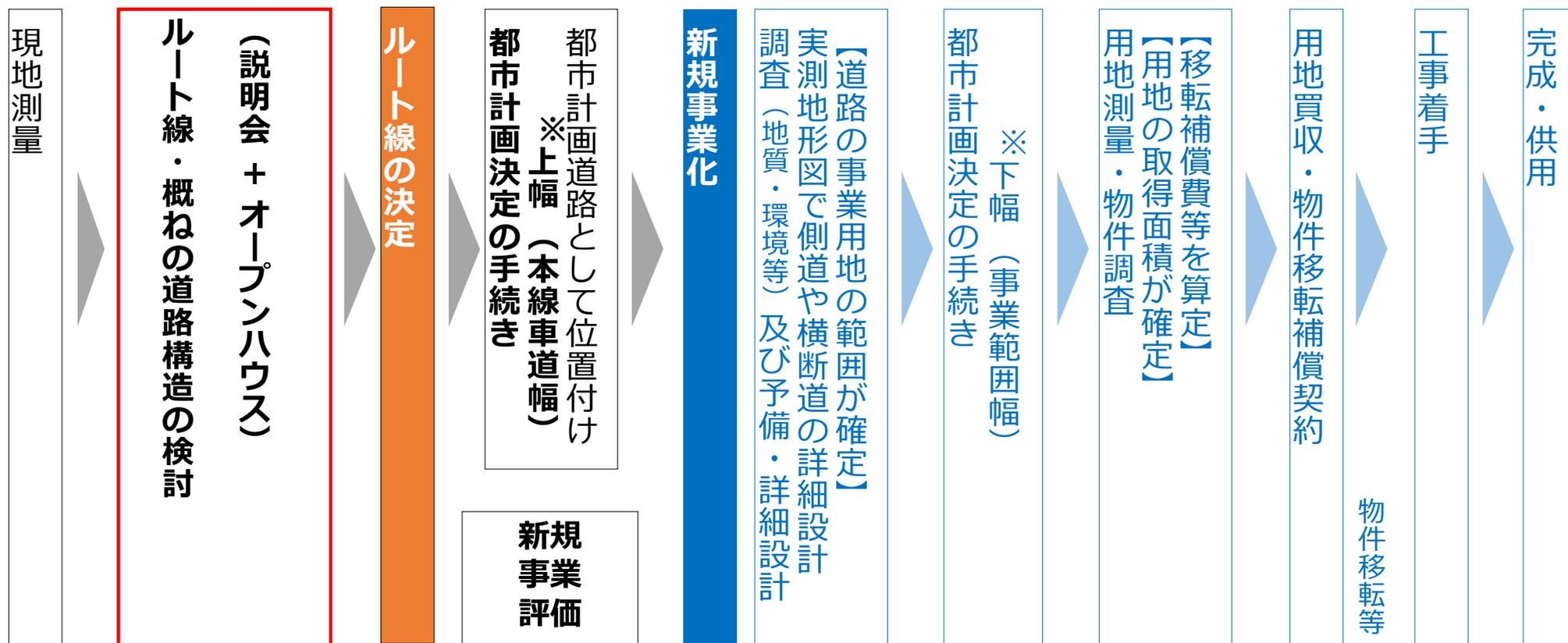


今後知りたい情報はどんな内容ですか【複数回答可】



今後の予定（事業全体の流れ）

説明会 (R6.9) 説明会 (R7.12) OH (R8.2) 説明会 (R8.3)



事業準備段階（ルート線の決定）

事業実施段階（詳細設計・用地買収・工事）

説明会等を通じ、引続きルート線及び概ねの道路構造について、地域の皆様からの理解を求めています。

都市計画の役割について

将来のまちづくりに向かって**計画的に整備**をしていくため、都市の骨組を形づくる道路などの「**都市施設**」の**位置、規模、構造などを定める**ものです。

大町市における道路の課題

高速交通ネットワークの空白地域
既存の道路網は高速性、定時制に課題
高速道路まで時間がかかる
観光地の周遊性や交通アクセス
医療施設へのアクセス性

懸念



日常生活の利便性・安全性確保
医療体制、災害への備え
地域を代表する観光地への誘客

将来のまちづくりに向けた道路計画の目標

広域交通・市内交通の円滑化
交流促進・地域活性化
安全・安心な生活の確保
高速交通網の構築
松系道路へのアクセス性向上

【松系道路が果たすべき役割】

「地域の交流・連携を支える広域的な交通軸(骨格)」
「まちづくりとの連携・コンパクトな都市形成」
「観光地へのアクセス向上」
「ICアクセス向上による企業誘致」

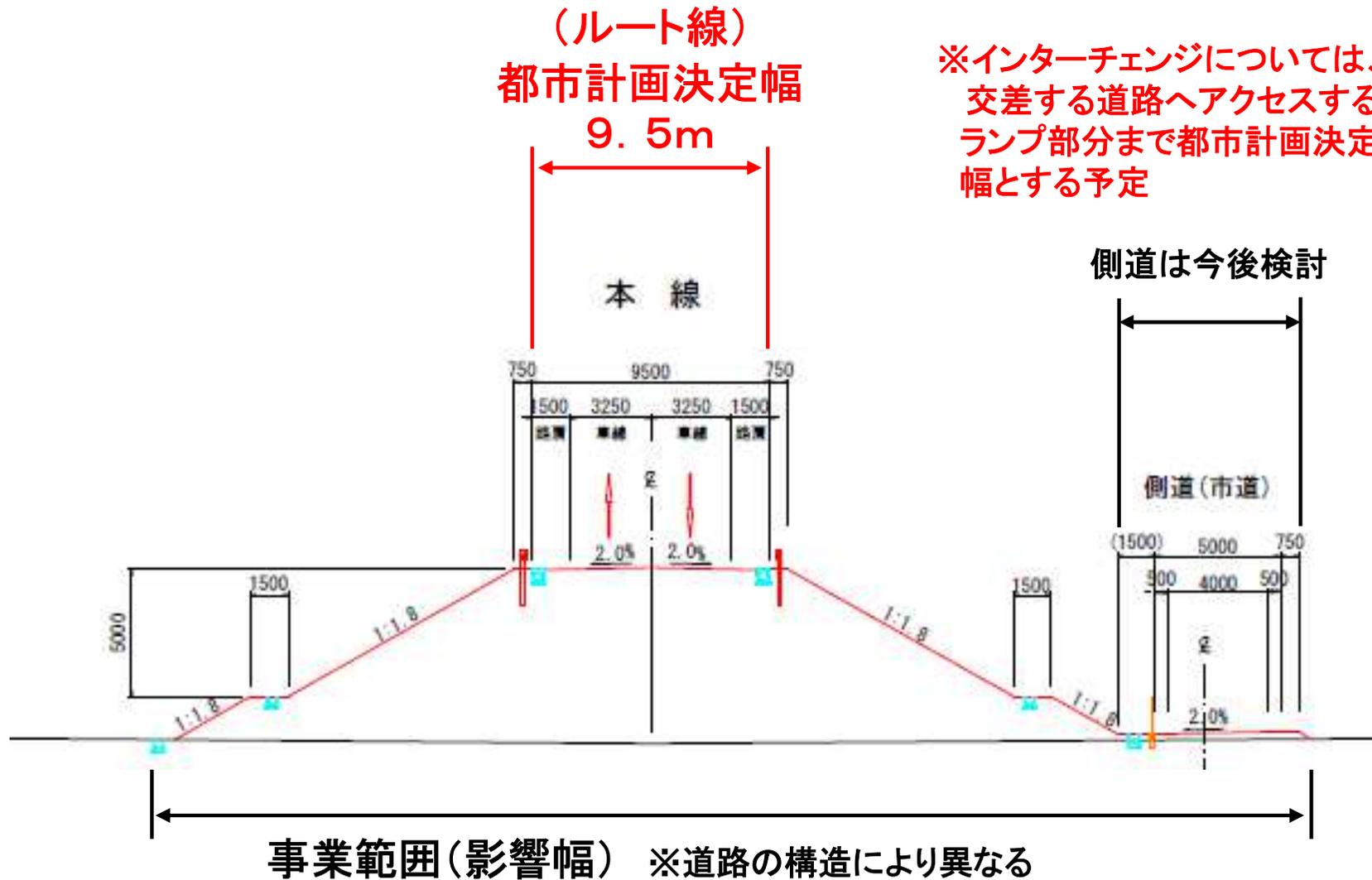


目標実現に向け**計画的な整備**が必要

松系道路を「大町市の基幹となる重要な都市施設」として都市計画に定める

都市計画道路の決定幅について

都市計画道路の決定(上幅)は、道路の本線車道幅員で決定します。



※インターチェンジについては、
交差する道路へアクセスする
ランプ部分まで都市計画決定
幅とする予定

事業着手後、盛土や擁壁など道路の詳細構造について設計を行なったうえで、事業範囲(下幅)を決定します。

都市計画による制限について

将来のまちづくりに向けた事業が円滑に実施できるよう、都市計画に定められた施設の区域内では、建築について制限がかかります。

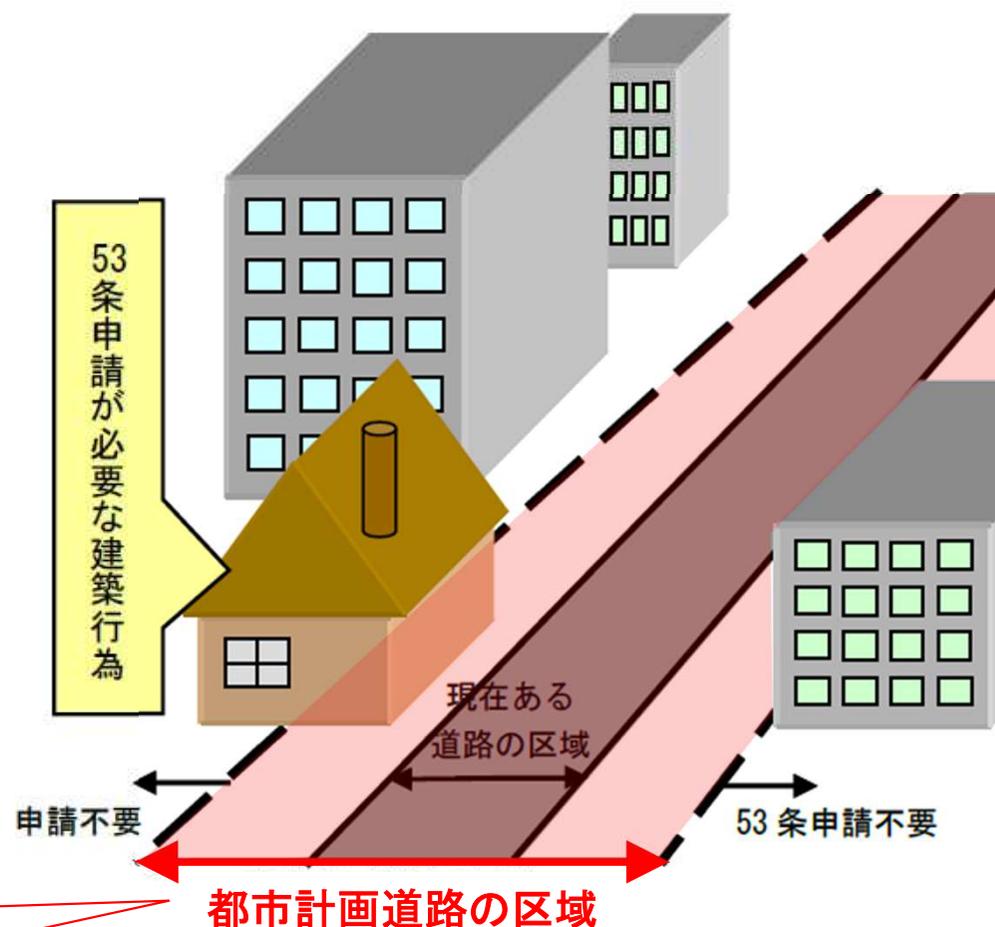
都市計画道路の区域内において、建築物を建築しようとする場合は、市への許可申請手続きが必要となります。(都市計画法第53条)

【許可される建築物】

- 2階建て以下で、かつ地階を有しないもの
(半地下も不可)
- 主要構造が
木造・鉄骨造・コンクリートブロック造
(鉄筋コンクリート造は不可)

上記要件に該当し、かつ、容易に移転し、
または除却することができるもの

この区域(位置、延長、幅)を
都市計画の手続きを経て決定します



【区域と制限の範囲(模式図)】

問い合わせ先

長野県大町建設事務所 整備・建築課 計画調査係

電話 : 0261-23-6534 (直通)

FAX : 0261-23-6532

E-mail : omachiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp

大町市建設水道部 建設課 松糸道路担当

電話 : 0261-22-0420 (内線 760)

FAX : 0261-23-5188

E-mail : kensetsu@city.omachi.nagano.jp

松糸道路 大町市街地



大町建設事務所HP

松本糸魚川連絡道路 大町市街地区間 オープンハウス (R8.2.22~24) のアンケートでいただいたご意見

番号	アンケートの自由回答欄に記載いただいた内容
1	ルート帯発表から松糸道の左側の不動産は買手がつかなくなっている。何かしらの手当てを考えてやってほしい。当事者は市民なので市としてできる事以前に国や県として手を差し伸べてもらいたい。
2	大町にこれ以上道路は必要ない。Cルート選択には納得いかない。今までの説明会で多くの反対意見や懸念が出たが、OH直前の説明会までにそれらがまったく考慮されてないこともおかしい。
3	この道路計画の第一歩からやり直して欲しい。道路を作る所から知りませんでした。西ルート・東ルートを決定する時も何も知らされなかったです。市民全員に知らせた上での計画の見直しが必要です。インターネットで御覧下さいはひどいです。
4	スマホも無い時代に発案された計画を今にもなって進めているのは疑問。メリットばかり目に付くスライドが多く、デメリットについて説明が無いのは気になった。
5	静かな環境が良くて大町へ来たが、便利一辺到以外の考え方もあるのでは？
6	・不要です。 ・税金の無駄です。 ・白馬市街を優先すべきでは。 ・大町捨てます。
7	側道を計画されたい。 新道路と堤防を盛工で構成はいかがか
8	20年後の大町市に適合した道路として欲しい。
9	・上にある現状道路の機能を確保してほしい。 上ーグランド、マレット利用者は多い ・早く道路が実施するように進めてほしい。 ・お疲れ様です！
10	わかりやすくとても良かったです。早く作ってほしいと思っています。
11	市民の多くは賛成です。反対は少数。早く事業を進めてください。このままでは大町がつぶれてしまいます。
12	道路のルートが家のすぐ横を通ります。景観も住環境も資産価値も全て低下悪化します。にもかかわらず何の補償もなく理解しろと言われても納得できる訳がありません。国が責任をもって売却先をあっせんしてほしいですし、もしくは補償に代わる何かしらの補助を検討すべきです。自宅の価値が国や市のせいで下がってしまうことに納得できません。固定資産税を払う意味がないです。
13	松糸道路を通すことによるメリットがいまいち理解できず。家からの景観が全く変わってしまう住人の気持ちに寄り添っていただきたい。道路がずばりかかる家ではなくても、その真横の家に対する補償なども少し考えていただきたいです。
14	基本的に反対です。多額の税金の使い道として道路をつくるメリットよりももっと使うべき、優先すべきことがたくさんあると思います。道を作る必要性よりも、投資すべきことがありますね。国も実現できないと思います。無駄使いですね。
15	田んぼの代替可否
16	できるかぎり早い完成を望んでいます。
17	利便性が高いため、なるべく早く完成してもらえればと思います。
18	今後の計画により完成の目途をはっきり決めてもらいたい。
19	現在住んでいる人が不安なく安心して暮らせるように最大限の配慮をお願いしたいです。
20	沿線住民をはじめ多く市民から、なぜ最もつぶされる住宅の多いCルート帯が最適なのか、道路公害、生活環境の悪化が最も著しいCルート帯が最適なのか、具体的な反証事例や環境測定データが示されている。 それらへの対応をしないまま、ルート線への理解だけを求める、一方通行の説明会、オープンハウスにどれだけの意味があるのか。理解＝賛成と考えるなどあいまいな手法でことを進めるようなことは止めていただきたい。 デメリットを含め、市民が求めるデータをきちんと示し、データに基づく議論を進めることがガイドラインの示すところではないか。 A,B,Cルート帯の選定に戻って、データをきちんと市民と共有することを求めます。
21	計画5年後はギモン？
22	道を横断するに側道を取り付けていただきたい！（田んぼに行くために）
23	現在の利用している道路が使用できなかったらとても不便です。いままでの道路を使用出来ないようでは造る意味がない。
24	道路について今後の交通量の状況から必要なものと思う。早期完成を願う。ただし、一部住民の不便について考慮願いたい。
25	高齢のためよくわからないのでそのつど説明をお願いします。入口出口が大事です。
26	だいぶ丁寧な説明を今まで進めている。早期着手して欲しい。反対派はもう無視でよい。
27	・十分丁寧な説明を行い進めているから、早期に進めて欲しい。 ・これ以上説明はいらぬ。早く進めないと大町は終わり。とにかく早く進めてください。反対派の意見は無視して進めて欲しい。
28	生命、災害等に対応する必要性。経済活動では高速交通網からはずれているハンデを背負って競争を迫られている大北地域。人口減少に向かう地域経済を少しでも救うのは観光客誘致による消費の増大など考えていかななくてはならない。一日も早い実現をしてください。
29	今後もこのようなオープンハウスの機会をもうけてほしい。自分はA,B,Cルート帯の中では、Aルートが一番カーブも少なく自然なルートだと思っていたが、Cルートに決まったということで意外だった。
30	50年もしたら老朽化してしまうものを今から新しく作ることに疑問を持っています。この道を作るにあたり、どれだけのお金、工期や維持費がかかるかまず一番はじめに掲載すべき（展示）。R148木崎以北は毎年冬一度は通行止めになるのでそちらに新しいルートを作るべき。小谷は家の近くに道があるからと新しいルートにした。→これは理解できる。なぜわざわざ大町は町なかを通すのか理解できない。「松糸道路を反対しているのはごねて賠償金をつり上げたいからだ。」職場で大町市内の関係のない地区の人に言われて心が痛みました。具体的なことが分かりづらいので、大町市民全員が分かるようにしてほしいし、住民投票をしてほしい。
31	市内は通ってほしくないです。常盤、木崎で止めて欲しいです。今更無理だとは思っていますが。
32	事業の進みが遅いと感じている。人口減が今より進む前に、松糸道路の建設を早期にしてほしい。
33	これからどんどん松糸道路を作っていくてください。
34	本線の建設に合わせて、交差する市道の改良も、時間はかかるとは思いますが進めてもらいたい。
35	早くできると良いと思う。
36	全体的な日程感を常に新聞等で知りたい。
37	道路計画に伴う大町市の経済効果発展計画を合わせて聞きたい。
38	自宅の横を通過する予定なので不安が残ります。
39	早期実現をめざし進行頂きたい。
40	とにかく前へ前へ事業を進めてほしい。今日のようなプロセスを踏むことは重要であり、関係者のご苦勞に感謝いたします。
41	たいへん丁寧に説明いただきありがとうございました。問題、課題などあると思いますが、一つ一つ解決して早期に着工できることをお願いします。
42	自宅からの景色や道の利用方法が側道の位置によって変わってくる。自治会の意見を聞いて側道の計画を進めてほしい。
43	なるべく早く作っていただきたいです。

松本糸魚川連絡道路 大町市街地区間 オープンハウス (R8.2.22~24) のアンケートでいただいたご意見

番号	アンケートの自由回答欄に記載いただいた内容
44	このオープンハウスでは県の側の方針が「また」展開されているだけで、大変残念です。12月の各地域で出された意見、疑問などへの答えが示されていません。また県の側の説明内容は道ができることへのメリットが中心です。住民の側にとってのデメリットや負担への言及がありません。住み慣れた家が失われる、慣れ親しんだ美しい景観が失われる。静かな地域に騒音が持ち込まれるetc.の住民の声は聞いてもらえないのでしょうか。主催者、地域住民の声を聞かずに進める公共事業には反対です。
45	・今でもAコースが最適と考える→家が少ない ・アクセス道路は2つぐらいでいい→アクセス道路が4つだと立ち退きの家も多くなる ・20年後に松糸道路ができたとして、大町の人口は半減しているのではないか。
46	家が本当に当たっているなら、なるべく早くうちの全体の内容を調べてもらいたい。(どうせ引越すなら)お金を貰って次の家の土地を早く探したいです。
47	早急に進めるべきだと思う。大北地区の空白は問題である。
48	両側に側道をつけてもらいたいです
49	今日の説明をお聞きして本当に家がなくなるんだなと思いました。毎日が不安です。その日が来るまで安心して暮らせたらと願うだけです。これからの説明会に期待しております。よろしく願いいたします。
50	説明が聞いて良かった。
51	今後のもっと詳しいスケジュールを掲示してほしい。
52	早期着工をお願いします。
53	丁寧に説明いただき理解を深めることが出来ました。早い完成を願っています。
54	八坂、美麻からのアクセス道についても併せて検討いただきたい。
55	一刻も早い開通をお願いします。
56	松糸道路の早期着工、完成を望みます
57	早期の実現を望みます。雇用、医療、子育て、観光など様々な面からみても、必要不可欠な道路と考えます。今のままで、人口が推移するとは考えにくく、減少は想定内とすると道路が整備できなければ、生活自体が成り立たないのではないのでしょうか。
58	一刻も早い完成を望んでいます
59	早く道路を作ってほしい
60	・とにかく一日でも早くすすめていただきたい。銀松苑まで一日も早く開通すれば大助かりです。・自分はAルートが最適と今でも思っているが、Cルートに決まった以上、立退きにあってしまう方々への丁寧な説明、対応をしていただき、一日も早い合意形成をお願いしたい。・堤防道路(オリンピック道路)穂高～松川～常盤間も拡幅整備されるのだと理解しているが、その沿線への説明等が現時点で全くなされていないと思う。ただちに進めるべきだと思う。
61	あと何年さきで工事が始まるのか
62	継続して、しっかりと周知ください。
63	工事中のダンプカー等の騒音はどれくらいになるか示してほしい。ダンプカーの通過ルート、台数/日、騒音レベルを検討・計算してから教えてほしい。
64	今回のルートより北に住んでいますが、南(安曇野・松本)を結び、時間短縮になるので、なるべく早い完成をお願いします。
65	早期実現に向けて頑張ってください。
66	個人的なエゴに負けずに早く完成することを願っています。ご担当者の方々、お疲れ様です。
67	色々な利点を考えれば必要だと思います。
68	高速道路ネットワーク空白の解消、北陸道と長野道をつなぐという意義は理解できるが、計画自体のルートに疑問がある。すでに「安曇野道路」の事業は始められているが、安曇野市を起点とすることに疑問。北アルプス地域と安曇野市では連絡道路の必要性に温度差がある。起点を安曇野市ではなく、さらに北にすべき(具体的には筑北村、麻績村、千曲市、長野市のいずれか)。「安曇野道路」は安曇野市方面の道路事情の改善に充て、連絡道路は先述の方面との交流を深めるために活用すべき。大町市街地以北に関しては連絡道路と並行する大糸線への影響が懸念される。北アルプス地域を訪れる人間の9割は自家用車という説明がなされているが、道路交通(自家用車)とあまりにも偏りすぎている。来訪者も居住者も公共交通(特に軌道系交通)の割合を増やし、偏りを是正すべきだが、連絡道路の整備によってなおさら車社会度が高まるのではないかと懸念される。大糸線への影響が懸念されるルートを見直し、共存共栄ができるものにすべき。オープンハウスに関しては計画に関する理解を深めるために有意義と考えられる。オープンハウスで計画に関して理解を深めたうえでオープンハウスのほかにも計画の是非、ルートの問題、公共交通への影響などを問う討論会を行うなど、一般市民が意見を伝えたり、議論を交わす機会を拡充すべき。
69	まだ計画の段階との事でこれがどう見直されて工事されるのか興味がわきました。
70	市民の生活が便利に、豊かになり、災害や救急に強い、住みやすい大町市になってくれることを期待しています生活が便利に、豊かになり、災害や救急に強い、住みやすい大町市になってくれることを期待しています。わかりやすいパネルや地図でとてもよく分かりました。
71	料金無料で利便性があり、将来必要となる道路だと思いました。早い完成を期待しております。色々ご苦労があると思いますが、頑張ってください。
72	大町市の発展のため、圏域の経済・産業振興のため、早期建設を強く要望いたします。
73	早期完成が出来れば良いと思います。
74	半世紀にわたる願いがようやく着手のメドが立ち気持ちが楽になってきました。市の発展には高速道路は不可欠です。人口減が進む中で1年でも早く着手できますよう大変ですが実なるご尽力をお願いいたします。
75	家の横に側道がつくられると騒音が心配です。せめて30km/h以内で
76	私道の名義をこの機会に外してほしい。騒音と家のプライバシーを隠す塀を作ってほしいです。
77	具体的なルート案や道路の構造が分かり、大変分かりやすかったです。反対意見もちろんあると思いますが、多数が賛成だと思うので、民主主義のやり方でどんどん進めてください。大変お疲れ様です。ありがとうございます。